

若者との意見交換会

背景と目的

背景

- 令和6年3月28日に桑名市と中部電力株式会社は「スマートシティの実現に向けた包括連携協定」を締結。
- 長期にわたる「まちづくり」の方向性を定めるため、両者で目指すまちの姿を取りまとめたビジョンの策定を進める。

目的

将来を担う若い世代にとっての「住みたいまち」についての意見を、ビジョン策定の参考とするため、中学生から新社会人までの方々と意見交換会を実施。

開催概要

実施日	ワークショップ参加者	
2024年7月1日	桑名市役所 新規採用職員	男性2名・女性2名
2024年7月29日	サステナ部	中学生3年生（女性）3名 高校生2年生（女性）1名
2024年8月5日	三重県立桑名工業高校	高校2年生（男性）3名
2024年8月9日	愛知大学	大学3年生（女性）3名

時間		内容
0:00 - 0:10	10分	スマートシティ共創ビジョンと桑名市について
0:10 - 0:20	10分	自分が知っている「まち」について
0:20 - 0:40	20分	桑名市の良いところ、改善が必要なところ
0:40 - 1:00	20分	自分が働いている世代（20代半ば）になった時に住みたい「まち」
1:00 - 1:30	30分	桑名市を住みたい「まち」にするためのアイデア

若者からの意見・アイデア

— ビジョンの重点領域 —

子育てしやすいまち

- 安全で交通の便の良いところで、子どもが安全に遊べるような公園が整備されていくと嬉しい。
- 子供のみまもりのために携帯やGPSを持たせたいが難しいかもしれないので、街中に防犯カメラを設置して、希望者は顔認証でどこにいるかわかるようになるとうい。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利で
スマートなまちづくり

介護負担が 軽減されるまち

- 介護になってしまってからでは、負担を減らすことは難しいと思うので介護にならないような取り組みがあると嬉しい。
- 色々なきっかけで介護が必要になることがある。例えば骨折リスクの見える化や、健康状態の見える化を行い、そのデータから食生活の提案や運動提案を行えるサービスがあると良い。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利で
スマートなまちづくり

駅前が賑わうまち

- 桑名駅前のスペースを有効活用（椅子や机の配置）して、若者が集まって過ごせるような空間があると良い。
- 今の駅はどこかに行くための通過点となっているが、おしゃれなカフェ・喫茶店があると駅前で時間を使う人が増え、賑わう場所になると思う。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利で
スマートなまちづくり

若者からの意見・アイデア

— ビジョンの重点領域 —

交通の利便性が 高いまち

- 桑名駅までの交通利便性の向上のため、駅を増やしてほしい。
- スマートフォンで街中のどこの駐車場が空いているか確認できるとよい。
- 信号機の切り替えをAIで判断して、歩行者の安全性向上と渋滞の緩和につなげてほしい。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利で
スマートなまちづくり

AIが発達していても 人の温かさがあるまち

- AIが発達して便利になる部分はありがたいと感じるが、人とのつながりがなくなる無機質な街にはなってほしくない。
- 人を助けるロボットのようなものがいてくれると良い。
- 大人になっても人が集まる環境（例えば地域のイベントを行うなど）があると嬉しい。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利で
スマートなまちづくり

自然が維持 されているまち

- マンションや高層ビルばかりがある街ではなく、桑名市の竹林や芝生などの自然が街中にある状況を維持されてほしい。
- 歩道に花を植えるなどして、街の景観を整えつつ自然が目に入るような街並みが良い。

地域の魅力を活かした
まちづくり

脱炭素社会の実現に向けた
まちづくり

データでつながる便利で
スマートなまちづくり

参加者の感想

参加後の 主なご感想

- 自分の思っているまちづくりに対しての意見を聴いてもらえてよかった。
- もっと桑名市について知りたいと感じた。
- 市の方と直接お話をする機会がないのですごくありがたかった。

ワークショップの様子

